

技士会だより

③ 社団法人高知県土木施工管理技士会

1. 概要

当技士会は、昭和55年4月会員数806名で発足。全国組織の中で5番目と早く、当初から社団法人化のスタートであり、土木施工管理技士会倫理要領に基づいた活動を念頭に、会の運営と事業を実施しております。

特に、四国の各県技士会と共に四国技士会連合会の一員として、平成12年より事業を初めたCPDSへの取組みに当初より参加しており、監理技術者講習も全国技士会で講習機関認定と共に講習実施に踏み出し、事業活動として順調に成長しています。

現在の賛助会員企業数337社、個人正会員数2,499名で正会員のCPDS加入者数は2,291名。高知県内の会員以外でのCPDS加入者も1,816名おり正会員増加要員として注力しているところです。

2. 組織構成

理事45名・監事2名を中心に、常任理事会・委員会（制度・技術・研修・広報）で事業の企画、立案を行い、職員2名により各種事業を実施しています。

3. 主な年間活動

①通常総会（5月）、常任理事会（年4回）、各委員会（随時）

②技術力の維持・向上に関する事業

- ・受験準備講習会（6月～9月：1級・2級土木 学科・実地）
- ・土木施工管理CPDS指定技術講習会（6月～7月：高知県内3会場5回計814名が受講）
- ・四国4県統一テーマ技術講習会（CPDS対象10月：高知会場1回 182名が受講 講習終了テストあり）



- ・土木技士会の監理技術者講習（本年度5回の開催を計画、既に4回実施 計368名受講）

③委員会活動

- ・技術委員会の活動を挙げますと、会員より現場担当技術者を選出、発注者（高知県土木部）と意見交換、検討会を実施しています。
- ・広報委員会は「高知土木技士」の発刊を年2回（1月・8月）

④中国・四国技士会連合会での発注機関との技術交流意見交換会への参加（11月）

⑤建設現場研修会を県内と県外を年1回交替の開催

⑥会員向けサイトによる情報提供（ホームページ）<http://www.kochi-cmea.jp>



<http://www.kochi-cmea.jp/cpds-help.html#help>